

自治労・東学ニュース

東京都学校事務職員労働組合（東学） 新宿区西新宿2-8-1 都庁第2本庁舎32階
（2022年4月1日定期異動の分析特集号） 2022年4月22日発行 NO.622

東学への加入をお勧めします

先日（4月7日）には、この4月に小中学校に転入してきた皆さんに、東学加入を勧誘する手紙等を郵送しました。

慣れない仕事に困った時、誰かに相談したい時、

その他何でも、お気軽に声をかけてください。東学に加入していただいた場合は、全力で組合員を守るために取り組みます。入手した情報は全部、組合員に提供していますので、視野を広げることできます。

今年度の異動は、新型コロナウイルスの感染拡大という、いつもとは違う「非常事態」の中でのものでした。小中学校の事務という職場は、学校という教育活動が行われていることや、定数配置が都費職員1人プラス区市費非常勤（臨時）職員1人と少ないこともあり、いままで経験してきたところと違うかも知れません。同じ学校に同僚（都費事務職員）がいないため、仕事は他校の事務職員や教育委員会に聞かなければならないなど、これまでの職場と環境が違っているかと思います。皆さんが早く学校に慣れ、私たちの組合（東学）に加入されることを期待いたします。

2022年4月1日定期異動の結果分析 （確定版）

■小中学校への転入の結果

小中学校への転入は、合計123名でした。都立学校からが26名。教育庁からが6名。経営支援センターからが1名。知事部局等からが64名。（主税局12名、福祉保健局11名、病院経営本部8名、水道局9名などからが多い）。新規採用者が26名。

■小中学校からの転出の結果

小中学校からの転出は、合計63名でした。都立学校へは30名。教育庁へは9名。経営支援センターへは11名。知事部局等へは13名。退職者（勧奨退職を含む）は26名。

■再任用職員の配置

小中学校での再任用職員の配置は、合計152でした。フルタイムが129名。短時間が23名。

■都立学校の転出入の結果

都立学校への転入は147名（新規採用38名を含む）、転出は123名でした。

■簡単な分析結果

1. 新規採用の配置が半減。小中学校26名（昨年度70名）、都立学校38名（66名）、合計64名（133名）。
2. 小中学校から都立学校への転出が増加傾向。30名（昨年度23名）。
3. 新規採用者が半減し、知事部局等からの転入が増加。オリンピック終了に伴うものか。
4. 小中学校の再任用職員（フルタイム、短時間ともに）が、減少傾向。2014年度がピークで370名。その後は、減少傾向。
5. 小中学校に知事部局等から再任用職員（短時間）が、2名転入。水道局と生活文化局。

■[東京都教育委員会の人事政策には紆余曲折が](#)

東京都教育委員会の学校事務職員に関する人事政策には、紆余曲折があります。「新規採用者は、都立学校に配置し、経験を積んでから小中学校に異動させる」「新規採用者は小中学校に配置しない、知事部局等から再任用職員を配置する」「新規採用者の配置のために、『学校事務の共同実施』を行う」。また、「学校は不人気職場」だとして、知事部局等からの転入者が、なかなかいなくて困っている。人事政策に「一貫性」などは要求しないが、政策を変更する場合は、最低限きちんと説明するべきである。

「ロシアは侵略をやめろ、 ウクライナから撤退を！ 4. 8日比谷集会」

■[集会に1800名が結集](#)

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」（総がかり行動）は、4月8日に日比谷野外音楽堂で集会を行い、1800名の労働者・市民が結集しました。「ロシアは侵略をやめろ」「ウクライナから撤退を」の怒りのシュプレヒコールが夜の銀座の街に響きわたりました。

■[ウクライナでは大量虐殺が、多数の難民が](#)

ロシアのウクライナ侵略から、2カ月近くが経過しました。停戦交渉も始まっていますが、一刻も早い停戦、ロシア軍の撤退が求められます。ブチャなどでは、大量虐殺が強行され、民間人や女性、子どもが犠牲となっています。国外に逃れた難民も、438万人を超えています。生物・化学兵器や小型の核兵器の使用も、示唆されています。

■[世界で反戦デモが](#)

ロシアによるウクライナ侵略に反対する労働者・市民が、世界各地で集会・デモ行進を貫徹しています。ロシアの国内では、逮捕覚悟で、反戦行動が貫徹されています。

■[日本では便乗する動きが](#)

日本では、この「プーチンによる戦争」に便乗して、「核兵器の共有」「敵基地攻撃能力の保有」「防衛費の増強」「憲法改正」「原発再稼働」などの動きが、出てきています。

4. 16さよなら原発首都圏集会

■[集会に2300名が結集](#)

「さよなら原発」一千万人署名市民の会は、4月16日に亀戸中央公園で集会を開催し、2300名の労働者・市民が、結集しました。「原発とめろ」「再稼働やめろ」の怒りのシュプレヒコールが錦糸町の街に、響きわたりました。

■[原発とウクライナ侵略](#)

ロシアのウクライナ侵略は、多くの労働者・市民に犠牲を強いています。ロシア軍は、チェルノブイリ原発やザポリージャ原発を武力で占拠し、原子力施設に攻撃を加え、世界に衝撃を与えました。大規模な核災害を引き起こす危険性があります。

■[事故から11年が経過](#)

福島第一原発の事故という世界に類を見ない大事故は、いまだ廃炉の見通しも立たず、処理水（汚染水）の海洋放出を強引に進めようとしています。岸田政権は、原発の再稼働を前提とした新たなエネルギー基本計画を策定し、核燃料サイクルの延命をはかっています。

■[脱原発の声を](#)

福島第一原発事故以降、原子力政策をめぐる国内外の環境は、大きく変わり、世論の多くは、原子力からの撤退を求めています。いまこそ、脱原発の声を挙げていきましょう。